



陸前高田で学ぶ 教育旅行プログラム

(令和6年8月改訂)

発行：一般社団法人陸前高田市観光物産協会

目次

1. (一社) 陸前高田市観光物産協会	2
2. 東日本大震災津波伝承館	6
3. ワタミオーガニックランド	14
4. 岩手県立野外活動センター	21
5. NPO法人SET	30
6. 陸前高田市立博物館	36
7. 一般社団法人トナリノ	39
8. 高田松原津波復興祈念公園から各施設へのアクセス	48
9. 周辺施設連絡先・避難について	49
10. 団体連絡先一覧	51

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

岩手県 陸前高田市

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、

東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために2021年夏に新しく始まった

高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。



復興への
希望への
象徴

1

復興への
希望への
象徴

2

津波の威力を
伝える遺構

3

防災教育の重要性を
伝える遺構

4

津波の高さを
伝える遺構

5



奇跡の一本松



陸前高田
ユースホステル



旧道の駅高田松原
タピック45



気仙中学校



下宿定住促進住宅

公園内には **5つの震災遺構** が残されており、津波災害による貴重な遺構を間近で見学することができます。パークガイドとともに園内を歩き、震災のこと・復興のいまをお伝えします。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設 とは

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、「震災の記憶」と「教訓の後世への伝承」とともに、国内外に向けて復興に対する強い意志を発信するため、国・岩手県・陸前高田市が連携して整備した、復興の象徴となる公園です。

パークガイドでは、専門のガイドが公園の中をご案内します。
コースは4種類の中からお選びいただけます。



● 公園内には「東日本大震災津波伝承館」・「道の駅高田松原」が敷地内にあります。見学・お買い物等にお役立てください。

※ 東日本大震災津波伝承館をご予約の際は、お手数ですが直接お問い合わせください。

※ 2クラス以上等の場合は、パークガイドと併せて「東日本大震災津波伝承館」のご調整を承ることも可能です。ご相談ください。

旧道の駅高田松原 タピック45

— 津波の威力を伝える遺構 —

震災前の道の駅だった建物です。
1階の内部見学が可能で、中に入ると津波の力によって破壊された大きな壁がを間近で見学することができます。



気仙中学校

— 防災教育の重要性を伝える遺構 —

陸前高田市内で最も早く津波が到達した学校です。そんな状況下のなか迅速な避難行動のおかげで、全員が無事に助かることができました。校舎は3階まで見学することができます。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

ご案内ルート

◀ 至 避難場所
(気仙小学校)



A コース

防潮堤

奇跡の一本松

旧道の駅タピック45

約 60-90 分

B コース

気仙中学校 (遠目からの奇跡の一本松)

約 60 分

C コース

防潮堤

奇跡の一本松

気仙中学校

約 90-120 分

特例コース

防潮堤

旧道の駅タピック45

気仙中学校

約 90-120 分 (車移動あり・30名程度まで)

- 『気仙中学校』の見学は一度に「2団体(2クラス)」まで、『旧道の駅タピック45』は「1団体(1クラス)」までです。
- 移動はすべて徒歩移動となります。(ご不安な点がございましたらご相談ください)
- 車椅子の方や配慮が必要な方がいらっしゃる場合は、事前にご連絡ください。
- Cコースは、集合・終了場所が異なりますので、バスのご移動・お迎えをお願いいたします。
- お手洗いをご利用の際は、基本的に『東日本大震災津波伝承館・側』のお手洗いをご利用ください。
- 雨天時の場合も実施となりますので、雨具のご用意をお願いいたします。(状況に応じてバス車内からのご案内となる場合もございます)
- 注意報・警報が発令された場合は、ご案内を中止し安全な場所へ避難をいたします。

お問い合わせ
お申し込み

一般社団法人 陸前高田市観光物産協会
高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局

専用直通番号：090-7528-8182
MAIL：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

お申込みは下記専用ホームページ申込フォームよりお願いいたします。

【高田旅ナビ】 <https://tak@navi.org/shinsai/>

No.

■ 体験メニューの種類	震災ガイド・見学
-------------	----------

■ 商品素材名称

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



震災遺構のご見学が可能です

【概要】

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために、2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

パークガイドでは公園内を、陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドのご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タビック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

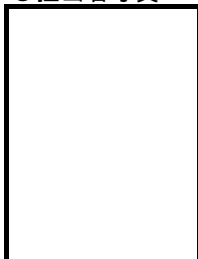
所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影180		
種別	見学	料金	※1
受入人数	最大260名様程度まで	所要時間	60～120分（見学行程による）
営業時期	通年	営業時間	9:00～18:00 ※2
集合場所	東日本大震災津波伝承館前付近	解散場所	現地
駐車場状況	大型バス専用駐車場あり	現地ガイド	パークガイド
予約申込期限	2週間前程度	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL : 090-7528-8182（専用番号） FAX : 0192-54-5013 MAIL : rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp		

<p>備考</p> <p>（※）一般団体料金等について記載のこと。</p>	<p>≪記載例≫</p> <p>※1 教育旅行団体（ひとりあたりの料金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●20名様以上の場合…小学生 550円／中学生～高校生 1,100円 ●120名様以上の場合…中学生～高校生 825円 ●20名様未満の団体／一式19,800円 ●気仙中学校に入場する場合…入場料として500円（気仙中ガイドブック付き） <p>※2 10月～3月までは17:00まで（気仙中学校入館は16:00まで）</p>
--	--

● 二次交通情報	● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）
----------	-----------------------

交 利 通 機 可 能		付 近 情 報	
----------------------------	--	------------------	--

●担当者写真



●担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局
（一般社団法人陸前高田市観光物産協会）

専用番号：090-7528-8182
 固定番号：0192-54-5011
 FAX：0192-54-5013
 MAIL：
 rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

パークガイドの様子



復興祈念公園が整備された経緯や各遺構・施設の説明を行ないます

少しずつ再生している高田松原を望みながら高田松原の歴史、植樹のことなどを説明します



奇跡の一本松もすぐ近くでの見学が可能です（集合写真可）

震災遺構であるタピック45および気仙中学校は本ガイドでのみ内部見学が可能となっています（ヘルメットは貸出しております）



見学のモデルケース

東日本大震災津波伝承館

(令和4年7月改訂)

目次

- 3 … 見学の基本的な考え方
- 4 … 見学時間の目安
- 5 … 各種ノートの配布(中高生用)
- 6 … 各種ノートの配布(小学生用)
- 7 … 基本的な見学の仕方
- 8 … 時間ごとの見学の仕方
- 9 … モデルケース①(～20人程度まで)
- 10 … モデルケース②(～40人程度まで)
- 11 … モデルケース③(～80人程度まで)
- 12 … モデルケース④(～160人程度まで)

見学の基本的な考え方

見学の方法	説明
自由見学	当館を自由にご覧いただきます。
解説員による展示解説 (当館推奨)	解説員をお付けして展示の解説をいたします。 ○ 事前の予約が必要(2週間前まで) ○ 見学時間は60分以上を推奨

※ 解説員は、概ね20名程度までに1人を配置します。同じ時間に配置できる解説員は2人が限度のため、通常は40人程度が上限となります。

※ 2クラス以上の見学への対応(モデルケース)については後述します。

3

見学時間の目安

見学時間	内 訳	備 考
30分未満	自由見学	見学時間を確保できない場合など
60分	10分:ガイダンスシアター 40分:解説員による解説 10分:自由見学	基本的なコース

※ 上記見学時間は「伝承館」のみの時間です。
(公園散策や道の駅での買い物などは、別途考慮が必要です。)

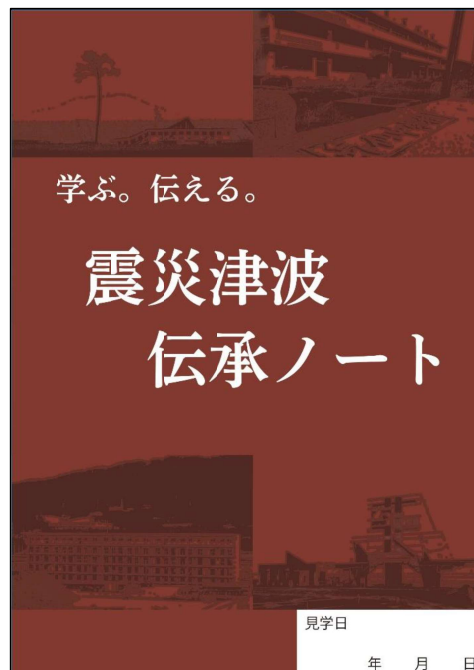
※ 事前学習や移動中のバスの中で予習するため、リーフレットや震災津波伝承ノート(中学・高校)、震災津波学習ノート(小学校用)を学校あてに前もって送付することも可能ですので、ご相談ください。

4

各種ノートの配布（中高生用）

学ぶ。伝える。 震災津波伝承ノート

- ◆内容
 - ①各ゾーンの見学のポイント
 - ②「考えてみよう」
 - ③見学を終えて（振り返り）
- ◆対象
中学生、高校生
- ◆作成した意図
 - ①東日本大震災津波の事実と教訓を学ぶ。
 - ②この震災を自分事と捉え、自分の地域で起こるかもしれない自然災害について考え、備える。

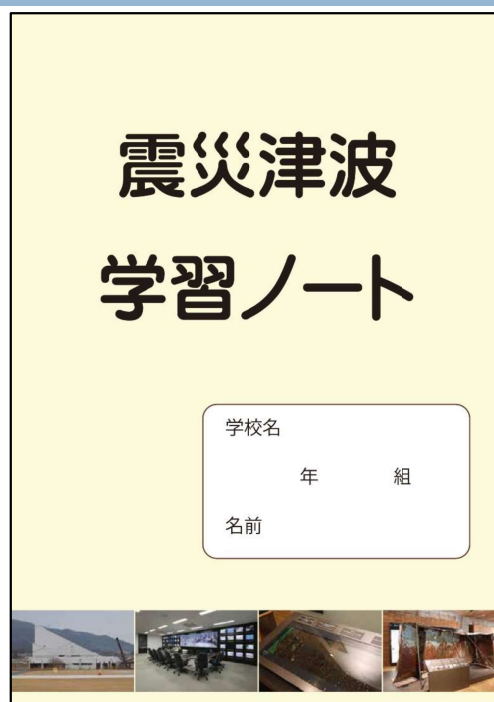


5

各種ノートの配布（小学生用）

震災津波学習ノート

- ◆内容
 - ①問題形式の学習ノート
*展示を見て解くもの、自分の考えをまとめる問い
 - ②見学を終えて（振り返り）
 - ③自分の家からの避難経路を考える
- ◆対象
小学生
- ◆作成した意図
 - ①伝承館の展示で利用する写真や資料を入れることで見学中や事前事後学習にて内容の理解がより深まる。
 - ②問題形式の内容とした。伝承館として伝えたい内容が児童へ定着しやすい。



6

基本的な見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	① 入館	② ガイダンス シアター視聴	③ 解説員による展示解説 ゾーン1~3						④ 自由見学			

① 入館

- 入館前に、避難経路の確認や見学時の注意事項の説明を行います。
- 入館時に、手指消毒及び検温を行います。

② ガイダンスシアター視聴

- 10分間の映像の視聴。

③ 解説員による展示解説

- ゾーン1~3の展示を解説員が説明します。途中に3.11シアターを視聴します。

④ 伝承館内の自由見学

- 解説後、生徒児童のみなさんが興味関心を持った場所や解説中には案内できなかった場所などを自由に見学します。
- 自由時間の有無や時間は調整可能です。

7

時間ごとの見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1~3						自由見学			

60分時間が確保できない時には、45分、30分のプログラムもあります

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
45分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1~3						自由見学が なくなります	

分	5	10	15	20	25	30	
30分	入館	ガイダンスシアター視聴 解説員による展示解説 ゾーン1~3				自由見学がなくなります ガイダンスシアターのみ の視聴	

8

見学のモデルケース①

～20人程度まで（少人数学級想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
1組 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3									自由見学

9

見学のモデルケース②

～40人程度まで（1クラス想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
1組 1班 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → ゾーン2 → ゾーン3(※)									自由見学
1組 2班 (20人)			解説員による展示解説 ゾーン3 → ゾーン1 → ゾーン2(※)									

※ ガイダンスシアター視聴後、2つの班に分かれてそれぞれに解説員がつきます。2つの班が重ならないように館内をご案内します。その日の予約状況によっては、1人の解説員で1クラス全員を案内する場合があります。

10

見学のモデルケース③

～80人程度まで(2クラス想定)

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 1班 (20人)	シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
1組 2班 (20人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2										
2組 1班 (20人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	
2組 2班 (20人)							解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2					

※ 一方のクラスが伝承館を見学中は、もう一方のクラスが別メニュー対応となり、60分で入れ替え。滞在時間はトータルで120分となります。

※ 各班に1人解説員が付きます。その日の予約状況によっては、各組1人の解説員の配置になる場合もあります。

11

見学のモデルケース④

～160人程度まで(4クラス想定)

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 (40人)	入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
2組 (40人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2										
3組 (40人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	
4組 (40人)							解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2					

※ 1クラスに解説員を1人ずつ配置し、クラス単位で見学をお願いします。

12

東日本大震災津波伝承館の見学について



外観

中央の建物の左側が津波伝承館です。
※右側は道の駅高田松原です。



ご案内の様子

事前に団体予約をいただければ、
解説員が館内をご案内いたします。
(自由見学も可能です)



エントランス

津波伝承館入口です。
24時間利用可能なトイレがあります。



館内

津波の被害を受けた被災した車や
橋桁など、当時のものがありのまま
展示されているほか、記録として残
されている映像を試聴できる「ガイ
ダンスシアター」などがあります。

No.

■ 体験メニューの種類	見学ガイド
-------------	-------

■ 商品素材名称	東日本大震災津波伝承館		
----------	--------------------	--	--

■ 商品素材写真			
----------	---	--	--

■ 商品素材紹介	<p align="center">解説員の説明による 展示内容の深い理解促進</p>		
----------	--	--	--

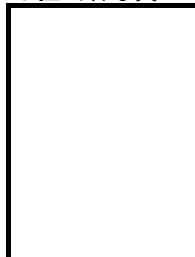
<p>【概要】 復興の象徴として整備された高田松原津波復興祈念公園内に開館した震災伝承施設。震災津波について正しく学び、防災意識を高める「学びの場」として復興教育に取り組んでいます。 ・解説員による館内展示の説明と、ガイダンスシアター等の映像視聴により、当館の展示内容をより深く理解していただくことができます。 ・一度に入館できる人数は限られておりますが、他の体験などと合わせて、時間を調節することも可能です。 ・解説なしで館内を自由見学することも可能です。 ・解説の有無にかかわらず、ご希望に応じて、事前・事後学習に活用するワークノートを提供します。</p> <p>【注意事項】 年末年始（12/29～1/3）や、年数回のメンテナンスなどによる臨時休館がございますので、ご利用前に必ずご確認ください。</p>			
---	--	--	--

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地（高田松原津波復興祈念公園内）		
種別	見学	料金	無料
受入人数	要相談	所要時間	30分～60分
営業時期	通年	営業時間	午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
集合場所	現地（東日本大震災津波伝承館）	解散場所	現地（東日本大震災津波伝承館）
駐車場状況	大型バス対応の駐車場有	現地ガイド	解説員による展示解説
予約申込期限	ご利用日の2週間前まで	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-47-4455		

備考	<p>・解説員の有無を問わず料金は無料です。</p> <p>(※) 一般団体料金等について記載のこと。</p>
----	---

● 二次交通情報		● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）	
交通 利用 機能		付近 情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【宿泊】岩手県立野外活動センター
			【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド

●担当者写真



●担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

<p>東日本大震災津波伝承館 主任主査 小野 善明 (ヨシトモ) TEL：0192-47-4455</p>

お食事に関するご案内

ワタミオーガニックランドは
最大300名様まで
お食事ができます！

東日本エリア生産量No.1のささみを使った
オリジナルバーガー (写真:原寸サイズ)

広大な敷地を持つワタミオーガニックランド
なら修学旅行生などの団体様向けのお食事
プランもご用意しています！
お気軽にご相談ください。



「津波伝承館」までお食事をお届けすることもできます！

ワタミオーガニックランド以外でのお食事
にも対応！
旅行会社様で予め組まれている団体ツアー
で、大量のお食事を要する場合にも現地
まで配送可能です。
乗務員向けのお食事もご用意できますので
お問い合わせください。



ご来園の皆様にご安心してご利用いただくために



屋内換気

屋内施設では十分な
換気を行っています



ソーシャルディスタンス

身体的距離の確保に
努めています



手洗い・消毒

スタッフ・園内施設各所・備品の
消毒をこまめに行っています



マスク着用

スタッフのマスク着用を
徹底しています



健康管理

スタッフの健康管理を
徹底しています

ワタミオーガニックランドはSDGsを体験しながら 楽しく学べるテーマパークです



散策順路ガイド

- 散策順路①
おらほハウス
- 散策順路②
休憩棟 & 木づかいハウス

- 散策順路③
ぶどう園
- 散策順路④
露地栽培園
- 散策順路⑤
みんなの森

園内施設ガイド

- ☕ カフェ
- 🚻 トイレ
- 🍴 食事・休憩 (おらほハウス)
- 🚌 バス停 (グリーンズローモビリティ)
- 🪴 休憩棟
- 🅑 駐車場

子供も大人も！園内のアクティビティや食事など体験を通してSDGsが楽しみながら学べます！！



場内案内



BBQ・手作りバーガー体験



植樹体験



種アート体験



修学旅行・団体様向けプログラムのお問い合わせ先
TEL 0192-53-2107 (受付時間10:00-17:00)
E-mail info-rt-organic@watami.net

「東日本大震災津波伝承館」から車で5分
〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影309



お食事メニュー

地元気仙杉を使った「木づかい」ハウスで最大300名様まで一度にお食事いただけます。

お食事	時間	人数	内容	価格(税込)
季節の農園弁当	40～60分	20～300人	地元今泉地区のお米を使った季節のお弁当	1,300円
ハンバーガー作り体験	50～70分	20～300人	ハンバーガーキットを使った手作り体験	1,800円
BBQ	50～70分	20～300人	県内産お肉と、オーガニックランド産の野菜を使用	1,800～3,500円

～太陽の恵みからできているお食事～

お食事を通して、園の思いや商品に込めたストーリーを命と循環をテーマにした内容でご説明させていただきます。また、生徒様には食事後の片づけ、分別等ご協力いただき循環の一部としてサポートいただければ幸いです。

* キーワード：クリーンエネルギー、3R、分別、フードロス、発酵



ワタミオーガニックランドのお食事

*大切にしている事

命と循環をテーマとしています。お食事を通じて弊社の思い、商品に込められたストーリーをお話させていただきます。セルフサービスとさせていただきます。分別の方法にやその後についてご説明させていただきます。生徒様にも実践いただき、循環の一部をサポートいただきます。

・キーワード 3R 分別 再利用 できること フードロス

学生様用			* オーガニックランドの取り組み、食材説明付き	
弁当	季節の農園弁当	岩手県産豚100gとウインナー、(スープなし)	農園野菜入り	1,300 40分程度
乗務員食	*お弁当			800
大人用				
弁当	気仙三昧弁当	めんこい黒牛、ありすポーク、南部どり一度に味わえる一品	ランド野菜ナムル	1,600 40分程度
弁当	岩手弁当	めんこい黒牛のうまみの詰まった贅沢な一品	ランド野菜ナムル	1,900 40分程度
体験	南部鶏のササミカツバーガー体験	バーガー作り 体験		1,800 60分程度
BBQ	お手軽BBQ	岩手県産豚100gとウインナー、(スープなし)	焼野菜 ごはん	1,800 60分程度
BBQ	まるごと岩手県産豚BBQ	岩手めんこい黒牛80g 豚80g ウインナー(スープなし)	焼野菜 ごはん	2,700 60分程度
BBQ	ポリウムめんこい黒牛BBQ	牛 200g ウインナー (スープなし)	焼野菜 ごはん	3,500 60分程度

気仙三昧弁当



岩手キロサ牛弁当



手作りバーガー体験



季節の農園弁当



BBQイメージ



体験プログラム一覧

体験	時間	人数	備考	価格(税込)
場内案内散策	30~120分	20~300人	60分以上で摘み取り野菜試食付き『基本60分 1,500円』 60名様以上は要ローテーション	1,000~3,000円
植樹体験	40~60分	20~300人	事前に看板に名前ほり 60名様以上は要ローテーション	1,500円
種アート	40~60分	20~300人	タネを使った絵葉書の作成	1,500円
5つの種 ツアー	120~300分	5~30人	陸前高田の過去から未来を陸前高田市内を周遊しご案内いたします。	6,000円
* 60名様以上は食事や、その他の体験と組み合わせて実施御願いたします。				

■場内案内散策

SDGsや自然相互の関わり合いについて園内を説明しながらご案内いたします。

* キーワード：SDGs、農業、土、ソーラーシェア、エネルギー、木材利用

■植樹体験

津浪の被害を受けた大地に「木」を植え、森づくりについて学びます。

2名様1グループにつき1本植樹し、名前を記載した看板を

植樹した場所に設置していただきます。(看板は1年は現地、その後デジタル化します)

■種アート

元々は廃棄される予定だった種を利用し、絵葉書を手作りしていただきます。

■5つの種ツアー

- ・ 陸前高田市内を見渡せる高台と米沢商会様案内 90分
- 東日本団震災伝承館 60分 こちらはガイド付きません
- 高田松原コース 90分
- オーガニックランドコース 120分
- 合計 300分 6時間の1日滞在コース
- 1日を通じて、陸前高田の過去~未来の軌跡を5つの種と共に体験します。



お申し込み・ご予約の流れ

① まずはお電話かメールでご連絡ください！

「修学旅行・団体向け体験ツアー」に申し込みたい、または問い合わせたい場合はお気軽に電話・メールにてご連絡ください。

日時、ご人数、お食事、体験ツアー等、具体的な希望内容に対するご相談も承っております。こんなことがしたい、こんなことができないか等、お気軽にご連絡ください。

② 3営業日以内に折り返します！

お電話かメールでの受付が確認でき次第、1~3営業日を目安に担当者から折り返しのご連絡をさせていただきます。

③ 申し込みが済めば予約完了！

具体的なお話を伺いながら何度かすり合わせを繰り返します。

気になる点や心配なこと等を解消し、最終的なプログラム内容や費用が確定したら正式にご予約完了となります。

お知らせ

岩手県産の食材をふんだんに使用したお弁当をご紹介します。皆様の思い出深い旅のお供にぜひともどうぞ。

地元のおいしいを
集めました

岩手県肉お弁当



岩手産の牛・豚・鶏が一度に楽しめる!

気仙三昧弁当

1,600円

キロサ牧場「岩手めんこい黒牛」のカルビ、住田町有住(ありす)の山奥で静かな自然の中で育った「ありすポーク」のそぼろ、東日本生産量No.1*鶏「南部どり」を豪華に盛り付けました。*出典:農林水産省「令和元年生産農業所得統計」

岩手めんこい黒牛だけを堪能!

岩手牛弁当

1,900円

上質な赤身と脂身のうまみがあふれる「岩手めんこい黒牛」をオリジナルのタレで丁寧に焼き上げた一品です。

◎本製品に含まれるアレルギー情報:小麦・卵・乳 ●当日20時までにお召し上がりください。

お申込書

お名前			備考
商品名	税込価格	個数	合計金額
気仙三昧弁当	1,600円	個	円
岩手牛弁当	1,900円	個	円
緑茶	150円	個	円
●お申込書を記入のうえ、添乗員へお申し込みください。			総額 円



陸前高田 watami
オーガニックランド

配達用お弁当 概要

■価格帯

・1,600円～1,900円

■配達エリア

- ①一関IC、
- ②一関駅にて新幹線積み込み可

条件として、旅行会社様から1か月以上前に

一ノ関駅に連絡して駅の方の了解が必要

- ③高速道路サービスエリア（中尊寺PA）

（別途お弁当個数ご相談）

■配達時間

11時～19時頃まで（ご相談させてください）

■注文期日

事前に配達可能性コース、日程ご提示の上、前日12時までの注文にてお届け

25個以上の注文をお願いします。

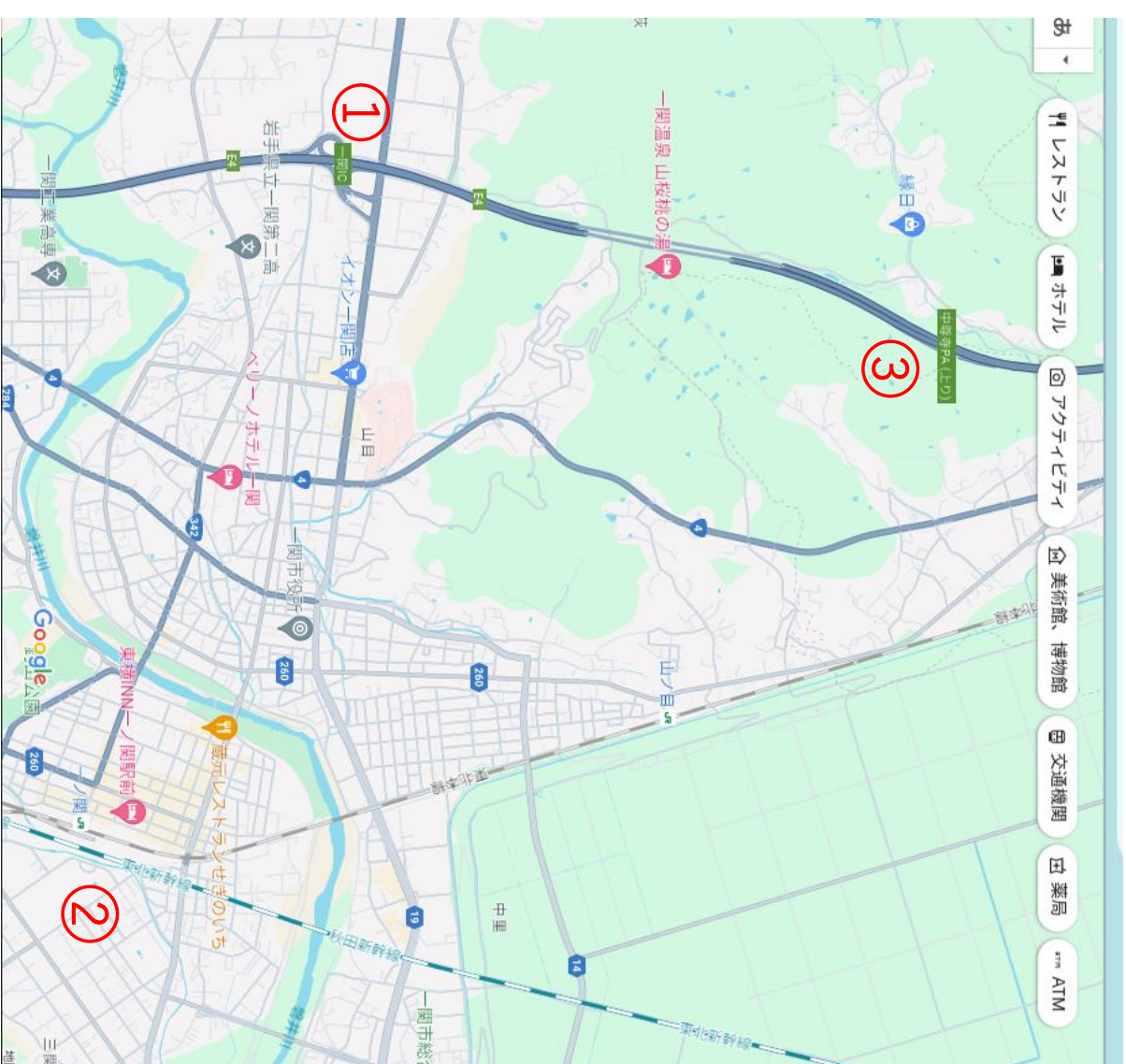
■賞味期限

お昼配達 当日15時を想定
夕食配達 当日21時を想定

JR一ノ関駅 直通電話
0191-23-4134

鈴木様（女性の方）

その他職員様にも下記の件共有していただけたら幸いです。



No.

■ 体験メニューの種類

震災学習・SDGs体験

■ 商品素材名称

陸前高田ワタミオーガニックランド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災学習+SDGs学習

【概要】

東日本大震災津波伝承館から車で5分程度の場所です。東日本大震災津波からの復興を【命と循環】、SDGsをテーマに自然の恵みを体験できる施設となっています。
* 伝承館内の芝生でのお弁当配送（ゴミの回収含む）も浮か田まわっております。雨天の際にはオーガニックランド内施設でお食事していただけます。

【注意事項】

体験学習などは予約が必要になります。10日前までにご予約下さい。

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影309		
種別	体験学習・見学・食事	料金	食事：1300円～ 体験：1000円～
受入人数	300人	所要時間	60分～ ご利用内容で異なります。
営業時期	通年（年末年始除く）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	ワタミオーガニックランド	解散場所	ワタミオーガニックランド
駐車場状況	大型6台、自家用30台	現地ガイド	ワタミオーガニックランドスタッフ
予約申込期限	10日前までに	業者コミッション	契約状況による
問合せ先	TEL：0192-53-2610 メール：info-rt-organic@watami.net		

備考 (※) 一般団体料金等について記載のこと。	<p>*1 料金は入場無料。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事 お弁当 1300円 BBQ、ハンバーガー作り体験 1800円～ ・ 体験学習の所要時間は60分～ 場内案内散策ツアーガイド 60分@1500円 植樹体験 60分@1500円 種アート体験 60分@1000円
-----------------------------	--

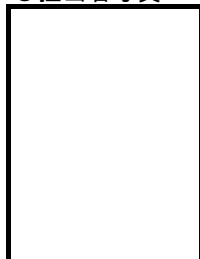
● 二次交通情報

交通機関	三陸自動車道「陸前高田長部IC」から約5分
	三陸自動車道「陸前高田IC」から約7分

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	
------	--

● 担当者写真



● 担当者連絡先

地球上で一番たくさんの方の「ありがとう」を集めるグループになる

ワタミオーガニックランド株式会社
経営企画担当
部谷 文一
Fumikazu HIDANI
ワタミオーガニックランド株式会社
〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町相川 158-5
TEL 0192-53-2610
f_hidani@watami.net
mobile 090-6569-9199

岩手県立野外活動センター

ひろたハマラインパーク
Hirota Hamaline Park



各種野外活動や集団宿泊研修、スポーツ合宿のほか、日帰りでの野外活動・創作活動・体育施設の利用など、さまざまな活動でご利用いただくことができます。



詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.echna.ne.jp/~rikuzenyagai/>

ホームページ QR コード

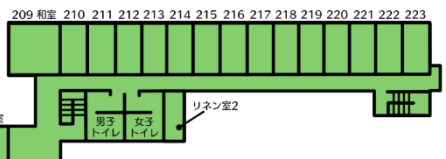




- 運動広場**
400mトラック・直線9コース・トラック8コース
サッカーフィールド(105m×68m)ラグビー兼用
軟式野球上2面、走幅跳・走高跳・砲丸投げ
- キャンプ場**
テントサイト×2
かまど10基を備えたトイレ・シャワー棟×2
ファイヤーサークル×2
- テニスコート**
砂入り人工芝8面
硬式、軟式に対応
夜間照明付き

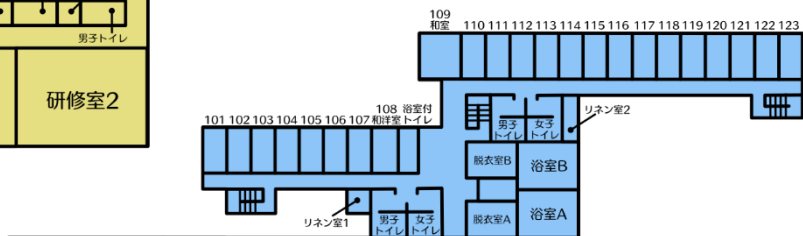


食堂	200席
研修室1・2	各100名
創作室	120名
バス定員	44名

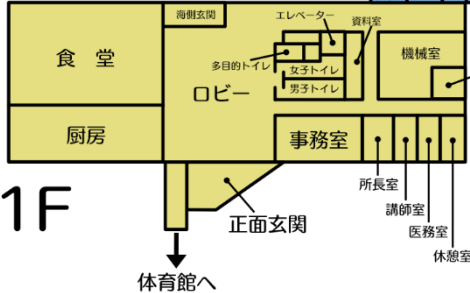


	定員	室数
宿泊室	4名	42室
和室	10名	3室
和洋室	2名	1室

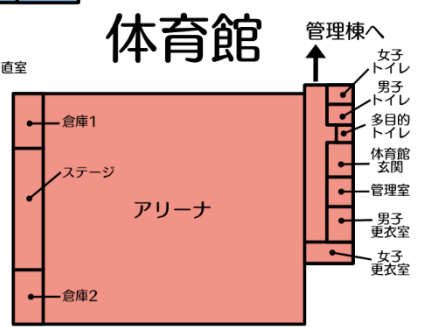
宿泊棟



管理棟



体育館



〒029-2208 陸前高田市広田町字大久保 124-1
 TEL : 0192-22-9800 FAX : 0192-22-9810
 Mail : hamaline@sposhin.echna.ne.jp

岩手県立野外活動センター 料金表(令和6年4月1日現在)

※ 料金は変更になる場合があります。

〈食事料金〉

区 分	朝 食	昼 食	夕 食
小学生以下	450円	570円	740円
中学生以上	460円	590円	760円

〈シーツ等洗濯代〉

シーツ・枕カバー(1式)	250円
シュラフシーツ(1式)	250円

※汚損の場合は別途料金がかかります。

※野外炊事等については「野外炊事・弁当等メニュー」をご覧ください。

〈宿泊室使用料★〉

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
1人1泊	370円	530円	720円

※「勤労青少年」とは、25歳未満で学生以外の方です。

〈キャンプ場使用料★〉

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
テント1泊1張(持ち込み含む)	200円	290円	380円

※キャンプ場シャワー室の利用料金は、1人1回あたり100円です。

※炊事用具利用料金は1式(10人分)1炊事あたり110円です。(11人の場合は2式となります。)

〈薪代等〉

種 別	小サイズ	中サイズ	大サイズ
キャンプファイヤー用薪	1,500円	2,400円	3,000円
炊 事 用 薪 (1束)	400円		
石 灰 (1 袋)	1,100円		

〈体育施設使用料金★〉→すべて1時間あたりの料金です。(利用人数は問いません。)

施 設 名	小・中学生		高校生・学生・勤労青少年		一 般	
	半面	全面	半面	全面	半面	全面
運 動 広 場	340円	650円	490円	980円	660円	1,310円
体 育 館	390円	760円	570円	1,150円	760円	1,520円
テニスコート(1面)	350円		510円		680円	

※体育館をアマチュアスポーツ以外で使用する場合は別料金を徴収する場合は別料金になります。

〈付属設備等使用料金★〉→すべて1時間あたりの料金です。

ス ー ツ 用 具	軟式野球、ソフトボール(ベース、杭含む)				260円	
	陸上競技(ハードル、高跳び用具、バトン)				140円	
	バスケットボール(ゴール含む)				130円	
	卓球(卓球台、ネットセット)				60円	
	ラグビー、サッカー、ハンドボール、フットサル(各ゴール含む)、テニス				40円	
	バレーボール、バドミントン(各ネット・支柱含む)、グラウンドゴルフ				30円	
放 送 設 備	備え付け設備(プロジェクター含む)				260円	
電 気 料	体育館				テニスコート(1面ごと)	
	7~9月		10~6月		7~9月	10~6月
	全面	半面	全面	半面		
	80円	40円	70円	40円	80円	70円

〈創作活動料金〉

フォトフレーム	300円	竹とんぼ(2個)	150円
ジェルキャンドル	500円	ぐにゃ風	250円
焼き板工作 ※別途薪代必要	300円	七宝焼き	700円
火おこし体験(1セット6人まで)	300円	あわびキラキラマグネット	300円

【施設使用料金の減免】…下記の場合、★料金(キャンプ場シャワー、電気代除く)の減免が可能です。事前にご相談ください。
 ○教育課程に基づく学習活動として学校が主催する事業 ○身障者手帳、療育手帳、子育て応援パスポートをお持ちの方
 ○県又は県教委が主催する野外活動及びスポーツの推進事業 等

【料金支払先・時間等】※現金払いです。お釣りのないようにご準備ください。

○食 事 料 金…食 堂 (支払い対応時間 8:30~9:30、13:30~14:30、19:00~20:00)

○食事料金以外…事務室 (支払い対応時間 8:45~17:00)

岩手県立野外活動センターの部屋について

部屋タイプ	収容人数	部屋数	宿泊可能人数
洋室	4名	42室	168名
和室	10名	3室	30名
和洋室	2名	1室	2名
合計		46室	200名



洋室
・ 4人部屋



和室
・ 10人部屋




和洋室
・ 2人部屋

No.

■ 体験メニューの種類	宿泊
-------------	----

■ 商品素材名称	
岩手県立野外活動センター	

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
	海に見える研修施設で宿泊体験
	<p>【概要】 東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。 海洋性野外活動機能、集団宿泊研修機能、スポーツ合宿機能、復興教育研修機能、防災教育研修機能という5つの機能を有しています。 宿泊利用だけでなく、日帰りでの野外活動、創作活動、体育施設の利用などさまざまな活動ができます。</p> <p>【注意事項】 下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。</p>

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	宿泊	料金	備考に掲載
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	1泊～
営業時期	通年	営業時間	9:00～17:00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考	<p>○宿泊室使用料 1泊…小・中学生：360円、高校・その他学生・勤労青少年：520円、一般：700円 シーツクリーニング代200円 ※勤労青少年とは、25歳未満で学生以外の方を指します。</p> <p>○宿泊室の種類 洋室：42室（各4名）、和室：3室（各10名）、和洋室：1室（2名） 合計：46室（200名）</p> <p>○食事料金 小学生以下…朝食：420円、昼食：530円、夕食：680円 中学生以上…朝食：430円、昼食：550円、夕食：700円</p>
(※) 一般団体料金等について記載のこと。	

● 二次交通情報		● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）	
交 利 通 用 機 関		付 近 情 報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
 研修班長 及川 秀明
 TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810
 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

■ 体験メニューの種類	野外活動体験
-------------	--------

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



海に見える研修施設で野外活動

【概要】
東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

野外活動では、施設内で体験可能なキャンプファイヤーや野外炊事などが体験できる他、施設周辺でウォークラリーやトレッキングなど7種類のプログラムを用意しております。

【注意事項】
下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※2
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	60分～240分
営業時期	通年（※1）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考	※1 活動プログラムによって体験可能な時期が定められています。 ※2 体験料など詳しくは問合せ先へご連絡くださいませ。
（※）一般団体料金等について記載のこと。	

● 二次交通情報	● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）
利用可能	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド 【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
 研修班長 及川 秀明
 TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

■ 体験メニューの種類	水辺活動体験
-------------	--------

■ 商品素材名称	岩手県立野外活動センター	
----------	---------------------	--



■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※2
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	180分～270分
営業時期	通年（※1）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考	<p>※1 活動プログラムによって体験可能な時期が定められています。</p> <p>※2 体験料など詳しくは問合せ先へご連絡くださいませ。</p>
（※）一般団体料金等について記載のこと。	

● 二次交通情報

交通機関可能		付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
研修班長 及川 秀明
TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

■ 体験メニューの種類	創作(屋内)活動体験
-------------	------------

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



海辺にある施設ならではの創作活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

創作(屋内)活動では、砂や貝殻などを使用して飾り付けるジェルキャンドル製作や、流木や貝殻を飾り付けるフォトフレーム製作など、10種類の活動プログラムを用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス(教育旅行受入の場合)			
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※2
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	30分~180分
営業時期	通年(※1)	営業時間	9:00~17:00
集合場所	現地(岩手県立野外活動センター)	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

<p>備考</p> <p>(※) 一般団体料金等について記載のこと。</p>	<p>※1 活動プログラムによって体験可能な時期が定められています。</p> <p>※2 体験料など詳しくは問合せ先へご連絡くださいませ。</p>
--	---

● 二次交通情報

交通機関可能	

● 付近の情報(昼食場/その他観光施設等)

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

岩手県立野外活動センター
 研修班長 及川 秀明
 TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810
 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

■ 体験メニューの種類	防災教育体験
-------------	--------

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



復興・防災教育活動

【概要】
東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

復興・防災教育活動では、広田町内にある震災・防災にかかわる10のポイントを、見て感じて考える防災ウォッチング、万が一に備えて避難所を模擬運営するゲーム（通称：HUG）や段ボールベッド・トイレの組み立てや非常持ち出し袋の確認などをする避難所開設体験などのプログラムを4つ用意しております。

【注意事項】
下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※1
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	90分～150分
営業時期	通年	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考	※1 体験料など詳しくは問合せ先へご連絡くださいませ。
(※) 一般団体料金等について記載のこと。	

● 二次交通情報	● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）
交 利 通 機 可 関 能	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

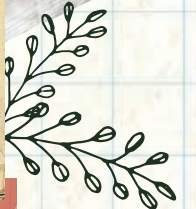
岩手県立野外活動センター
研修班長 及川 秀明
TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp



千年に一度の震災は
千年に一度の学びの場へ

陸前高田 民泊修学旅行

a school trip to Rikuzentakata



The Miracle Pine tree



震災の記憶を、未来への希望へ...



岩手県陸前高田市。
忘れもしない、2011年3月11日。

この日、この町ではたくさんの尊い命、かけがえのない
日常が失われました。

千年に一度といわれる東日本大震災により、
陸前高田市は人命、歴史、文化といった多くのものを失いました。
取り戻せないものもありますが、
陸前高田市では、新しい陸前高田市に向けて、
0からのまちづくりが行われています。

そこには、命ある限り、前向きに生きている人たちがいます。

自然と共に生きている人たちや、
絶望を知っているからこそ、当たり前の日常を大切に生きる人たち。
そんな人たちの生き様から、私たちは「生きる力」を感じるでしょう。

陸前高田だからこそ、
出会った受入家庭と生徒だからこそ「学び」が必ずあります。

一人ひとりが主人公の陸前高田民泊を体験してみませんか？

人生を、
一日一日を、

もっと大切に

生きようと思えました。

*民泊を経験した生徒さんからの感想

陸前高田民泊の過ごし方 ~各家庭のありのままの暮らし~

民泊ではホテルや旅館、民宿への宿泊とは異なり、一般家庭に数日間泊まらせていただきます。お客様ではなく「家族の一員」として、受入家庭の「ありのまま」の暮らし体験を通して生まれる気づきや学びを大切にしています。

★1 はまって会(入村式)



出会い

受入家庭とのドキドキの初対面の場。中には不安な気持ちの生徒さんもあるかもしれませんが、受入家庭の笑顔と歓迎の言葉、心も表情も少しずつほぐれていきます。ワクワクと安心感が生まれる大切な時間です。民泊のはじまりです！
*生徒による司会進行も良い経験に。



最初はお互いドキドキ

夕食づくり

最初は緊張していても、一緒にご飯をつくり、食卓を囲み、色々なお話をすることで少しずつ笑顔が増えています。



手作りのお漬物の味が忘れられない！

朝食

早起きをして、家の目の前の海へお散歩！地平線から昇ってくる朝日に感動！！



★2 食事



各家庭事の暮らし

陸前高田民泊のコンセプトは「オリジナル民泊」！家庭ごとの「ありのままの暮らし」を一緒に過ごすことで、生徒一人ひとりに学びや気づきが生まれています。100家庭あれば、100通りの出会いがあります。

初めての畑作業



受入家庭の人が数か月も前から育てた野菜など知り、食べ物のへの感謝の気持ちが生まれました。



地域散策

市街地へと歩きながら震災当時のお話を聞きます。

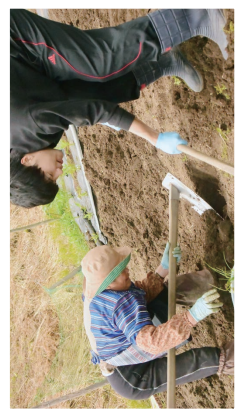


釜山へ徒歩へ！

船に乗って海へ！

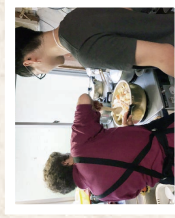
★3 暮らし体験

*体験作業は受入家庭によって異なります。ご了承ください。



料理

地域の郷土料理づくり。地域の歴史や、それぞれの地元についてお互いに会話をすることで、仲が深まる時間です。



細かるとってききた新鮮な野菜が食卓に！自然のありがたみを感じます。取れたての野菜は美味しく、昔ながらの野菜も美味しく食べることができました。



手作りの流し茶屋！

★4 ほんでまんず会(離村式)



お別れ

短い滞在時間でも、生徒と受入家庭との間には確かな絆が生まれています。受入家庭も「みんなうちの子だよ、離れていてもずっと応援しているからね。」生徒も「帰りたい、また絶対来るからね。」と涙を流す場面も。さようなら、ではなく、またね。

2泊5食コース

1日目

16:00 はまって会
16:30 各受入家庭へ移動
17:30 夕食づくり & 家族団らんの時間

*はまって会の方で「一緒に車の車の中に入って！」



受入家庭の車に乗って、行ってきますー！

17:30 夕食づくり & 家族団らんの時間



地元の食材を堪能！

7:00 朝食



火起こし体験！

9:00 ほんでまんず会



*ほんでまんずの方で「また会おうね！」

1泊3食コース

1日目

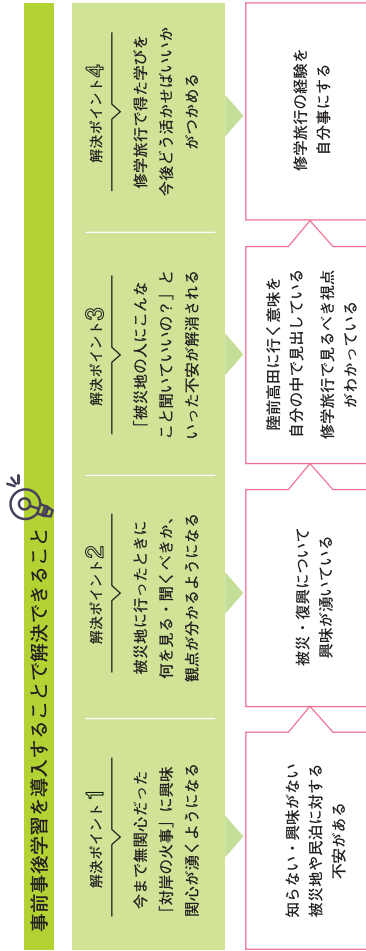
16:00 はまって会
16:30 各受入家庭へ移動
17:30 夕食づくり & 家族団らんの時間

2日目

07:00 朝食
09:00 暮らし体験
11:30 昼食
13:30 ほんでまんず会

オードメイドで深める事前事後学習

事前事後学習は、修学旅行前後に行う学習プログラムです。学校様のご希望をお伺いし、オーダーメイドの学習内容をご提案致します。生徒様一人ひとりの修学旅行での学びをより良いものにするために、ぜひ取り入れてみてくださいませんか？



プログラム例

- ※最新のプログラム例については、別途お問合せください。
- 講演会**
映像や写真を交えて、様々なテーマでの講演が可能です。
① 震災、津波で経験したこと
② 陸前高田ってどんなところ？
③ 修学旅行で何が学べるの？
 - ワークショップ**
例) 防災クロスロードゲーム
「非常食を自分の家庭だけで食べるか、避難所にいる他の人にも配るか？」等、実際の経験談を元に問いかけがされます。
 - グループセッション**
陸前高田でボランティアをする大学生と一緒にクイズやゲーム形式で楽しく学習。民泊当日に活用できる「民泊しおり」も作成します。
 - 避難所運営ゲーム HUG**
避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。カードゲーム形式で、災害時に次々に起こるイベントに関連して対応を瞬時に判断していきます。
 - 教材提供**
ご希望にあわせてワークシートを作成したり、ビデオを貸出することが可能です。ワークシートの過去テーマ
・ 東日本大震災の被害について
・ 陸前高田市について
・ 防潮堤の是非を問う など
 - 教材提供**
ご希望にあわせてワークシートを作成したり、ビデオを貸出することが可能です。ワークシートの過去テーマ
・ 東日本大震災の被害について
・ 陸前高田市について
・ 防潮堤の是非を問う など
 - ワークシート**
ワークシートを用いて、学びを自分事に落としこむために振り返りを行います。また、修学旅行の経験を自身のキャリア選択につながるキッカケにするキャリアプログラムにすることも可能です。



学校からのご要望（難易度・日数・テーマ）に沿って、オーダーメイドのプログラムを作成致します。お気軽にご相談ください。

【概要】

回数 事前学習 1回から3回 / 事後学習 1回
時間 1回につき50分
費用 1回につき500円/人（税別）

【テーマ例】

- 陸前高田市のゼロからのまちづくり政策作成
- 陸前高田の「暮らし—次産業」に焦点を当てた食費
- 陸前高田でビジネスを起こすためのプラン作成

【株式会社 & Nature】
TEL : 03-5829-6361 MAIL : info@andnature.jp HP : https://andnature.jp/

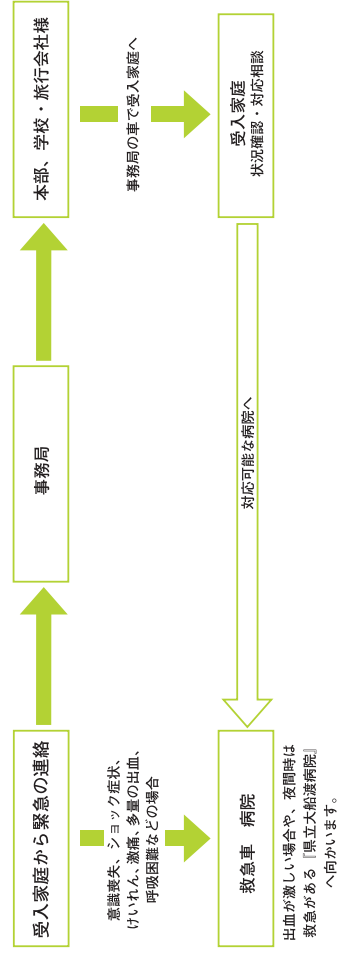


緊急時の連絡について

民泊中の体調不良など

緊急時連絡網

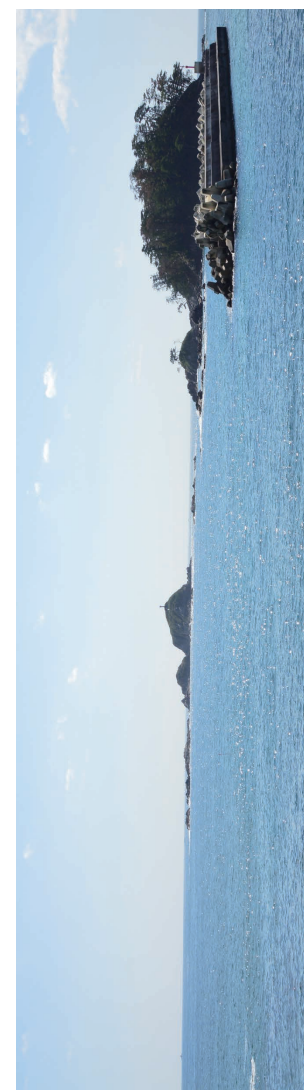
※事務局を通さず受入家庭に直接連絡・訪問するのはお控えください。



民泊中に万が一、災害が起きた場合

- 地震・津波（注意報・津波警報）
・ 受入家庭は市の防災無線線に従い行動する。
（なによりも迅速で確実な情報は市の防災無線です。）
※市内各所にスピーカーカーの設置場。
・ 避難する際、受入家庭は必ず生徒と一緒に避難する。
・ 警報や注意報が発令された場合、海辺での体験はすぐに中止して避難する。
- 大雨・洪水・暴風など（注意報・気象警報）
・ 市の防災無線線に従い行動する。
・ 避難が必要な場合、防災無線の指示・家庭の判断で避難をする。
- ※警報の有無に関わらず、状況によっては自宅待機を願う場合があります。その際の対応については事務局から電話にて案内します。
- ※事前に万歳の事象が予測される場合、旅行会社・学校様と話し合いのもと、時間を調整させて頂く場合もございます。

<p>避難所の情報は陸前高田市役所で集約しています。下記の流れで市役所から事務局に連絡が入ります。市役所→事務局→学校様・旅行会社様→保護者様</p> <p>※保護者様との連絡は学校様へお願いしています。※混乱を避けるため、各受入家庭への直接の連絡はくれぐれもお控えください。</p>	<p>次の番号に電話をかけることで、市の防災無線の内容を確認できます。 【電話応答サービス（通話無料）】 0120-273-256</p> <p>緊急時の対応については、受入家庭の皆様にも同様の対応を安全講習会で必ず伝えられています。</p>
--	---



全国の生徒さん、受入家庭からの声

生徒感想

受入家庭
感想



初めて会った時から、受入家庭さんが優しく話しかけてくださって、すごく嬉しかったです。気づけば不安な気持ちが、楽しくしょうがない気持ちへ変わっていました。

震災のお話を聞いて、中学生が地域のためにとても頑張っていたことが伝わってきました。もし自分が住む町で震災が起こってしまった時は、「私たちが一番に地域のために動かなければならない」と改めて思いました。

一番思い出に残っているのは初めて食事をした夜のことです。家族団欒でご飯を食べることに感動しました。自分を本当の家族のように出迎えてくれて本当に嬉しかったです。



民泊を通して、価値観を疑うことを学びました。違う価値観や生き方、新しい世界にお互いが触れることができ、とても良かったです。

By 民泊受入家庭 60代女性

何より、じいちゃんとたくさん遊んでしゃべることができたのがとても嬉しかったです。「本当の家族が増えたい」とじいちゃんが言ってくれた時は、すごく嬉しかったですよ。



東日本大震災から10年。大きな被害を受けた陸前高田市は、ハード、ソフトの両面で再起に向けた歩みを着実に進めています。自然災害によって大きく変化した地域を知り、防災の大切さを再認識していただければ幸いです。海と山の幸に恵まれた三陸で、楽しい時間を共有できることをお待ちしております。
60代男性



陸前高田市に来てわかったことがたくさんありました。その中でも心に残ったのは、震災が起こってから「人のありがたみ」というものを知ったということです。これからは私は、なんとなく毎日を過ごしていくのではなく、お母さん、お父さんに感謝をしようと思います。また、困っている人がいたら助けたりしたいと思います。

陸前高田での一期一会の出会いが、その場にいる一人ひとりの記憶に刻まれています。

民泊はやってみるととても楽しい。孫がないから、孫のようです。泊まった子供たちから手紙がくると嬉しく、民泊した子供たちが、その後どう成長していくのかもとても楽しみです。
70代女性

復興に向けての復旧作業に取り組んでいる方々の姿に、とても感動しました。そして、少しでも力になり「支える」ことが出来るようになりたいという気持ちが生まれました。



民泊のご利用に際して

- 受入家庭は、基本的に実施より約2か月前に決定します。
- 体験の内容は受入家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方などの事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

特定非営利活動法人 SET

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田 52-6

MAIL set.forjapan@gmail.com (代表)
takataminpaku@npo-set.com (民泊専用)

HP https://set-hirota.com/
民泊 HP https://takataminpaku.npo-set.org

「高田民泊」で検索ください！ 🔍



SET



民泊

No.

■ 体験メニューの種類	生活体験学習
-------------	--------

■ 商品素材名称

陸前高田民泊

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



陸前高田市のリアルな生活体験・交流事業

【概要】
陸前高田民泊は、一般のご家庭に泊まりながら、町でのリアルな生活を体験したり、町の方と交流することができる事業です。お客さんではなく、“その家の家族の一員”として暮らしや生活を共にすることを大切にしています。2019年にはのべ4000名以上の民泊受け入れを成功し、2020年からのコロナウイルスでの休止を経て2022年秋から本格的に受入再開となりました。

【注意事項】
下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）			
所在地	〒209-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田52-6		
種別	体験	料金	1泊2食11,000円、1泊3食11,800円、2泊5食22,800円(いずれも税別)
受入人数	最大30人程度（前後の予約状況によって受け入れ可能人数が異なるため、お問い合わせください）	所要時間	1泊～2泊（行程による）
営業時期	年末年始、お盆期間以外	営業時間	平日：9:30～17:00
集合場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます	解散場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます
駐車場状況	大型バス収容可能（8台以上）	現地ガイド	無し（巡回に事務局は同行いたしません）
予約申込期限	6ヶ月前	業者コミッション	1泊の場合/1,000円（税込）、2泊の場合/2,000円（税込）
問合せ先	Mail: takataminpaku@nposet.com		

備考	<<記載例>> (※) 一般団体料金等について記載のこと。
----	--------------------------------------

● 二次交通情報	● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）
利用可能	付近情報

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

特定非営利活動法人SET
 交流部 吉原直矢
 Mail: takataminpaku@nposet.com

利用案内

開館時間：午前9時から午後5時まで
(最終入館は午後4時30分まで)

休館日：12月29日から翌年の1月3日まで

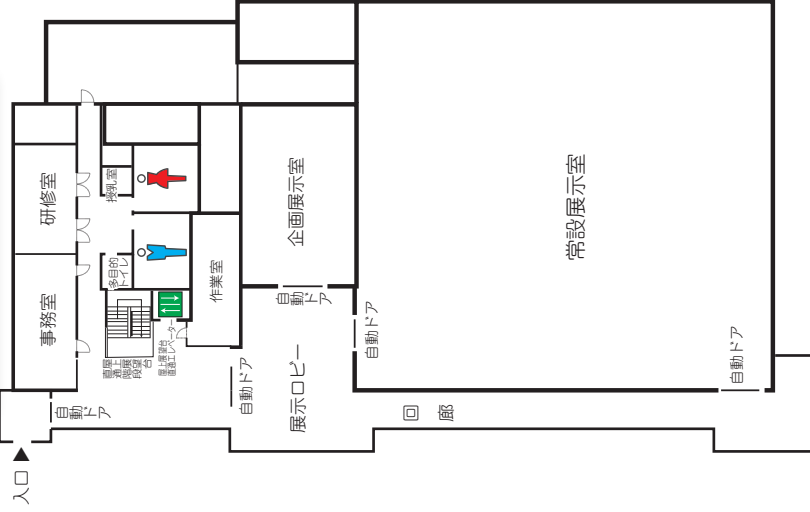
：月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

観覧料：無料(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ、観覧料を徴収する場合があります)

お願い

- ・展示資料には、手を触れないでください。
- ・展示室内では携帯電話での通話をご遠慮ください。
- ・撮影禁止マークの展示資料の撮影及びフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。また、三脚や自撮り棒の使用もできません。
- ・展示室内での飲食はご遠慮ください。
- ・敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ・その他スタッフの指示に従ってください。

平面図



アクセス

1 公共交通機関

【一ノ関駅より】

- (1) JR一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (2) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で陸前高田駅まで約40分
- (3) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

【花巻空港より】

- (1) JR 花巻空港駅より JR 東北本線一ノ関駅まで約1時間
- (2) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (3) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で JR 陸前高田駅まで約40分
- (4) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

※なお、花巻空港から自動車をご利用の場合、県道286号等を経由して約1時間30分

2 自動車

- ・三陸沿岸道路陸前高田 IC より約5分
- ・釜石道宮守 IC より国道107号・340号経由で約50分
- ・東北道一関 IC より県道19号、国道343号・340号経由で約1時間20分

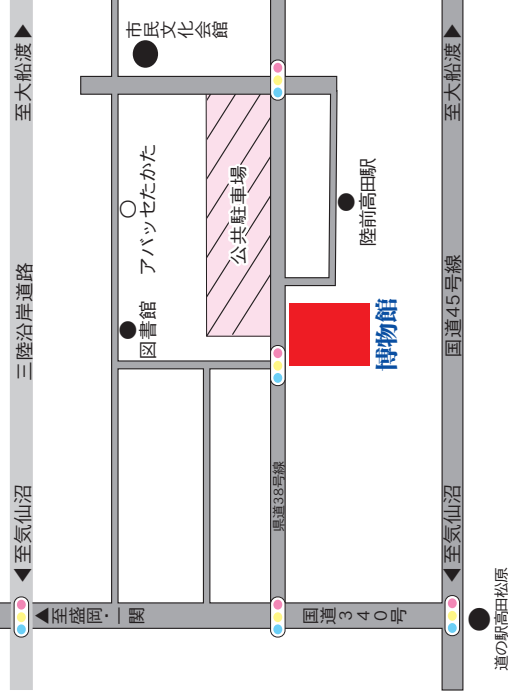
※上記交通手段の所要時間などはおおよその目安時間です。

ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。

※駐車場はアハッセたかた前の公共駐車場をご利用ください。

3 タクシー

- ・(株)気仙タクシー 0192-55-3241
- ・(有)高田交通タクシー 0192-56-2000
- ・高田タクシー(有) 0192-55-3118



陸前高田市立博物館

〒029-2205

住所：岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地 1

TEL：(0192) 54-4224

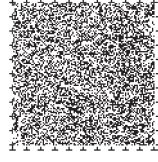
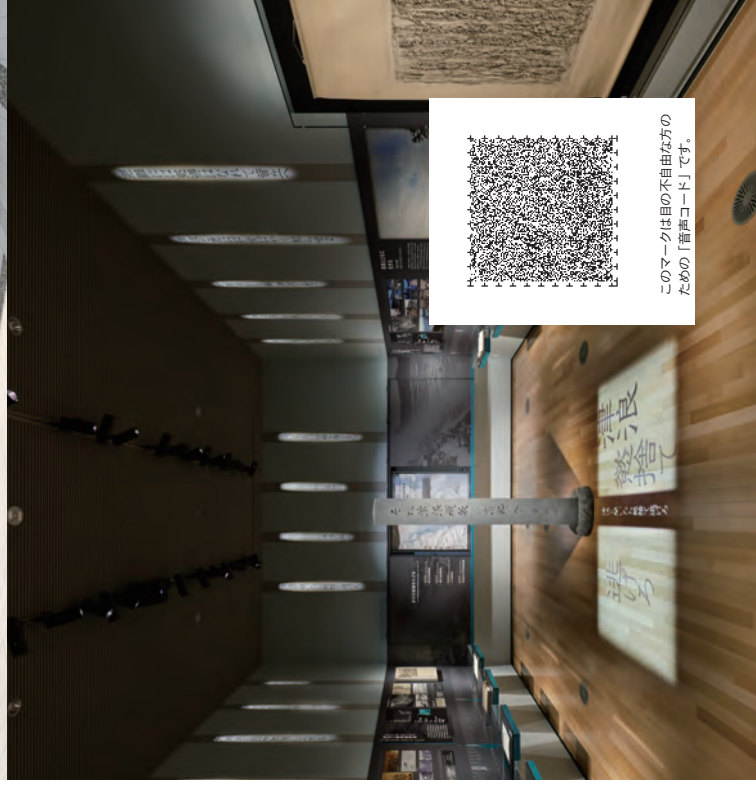
FAX：(0192) 54-4225



ホームページ

陸前高田市立博物館

RIKUZENTAKATA CITY MUSEUM



このマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。

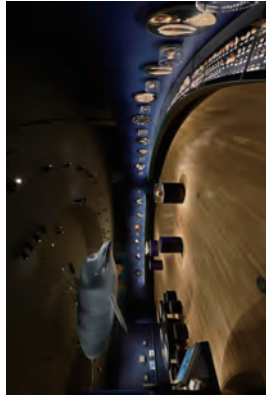
陸前高田の豊かな自然・歴史・文化を、震災の記憶とともに未来へ 伝え、地域に根差し、活力あるまちづくりを推進する総合博物館

9 発見の部屋



陸前高田市の自然や歴史、文化などについて遊びながら学ぶことのできるコーナーです。

8 貝たちの部屋



世界各地から集めた約2,000点の貝類標本を展示します。

7 よみがえる博物館

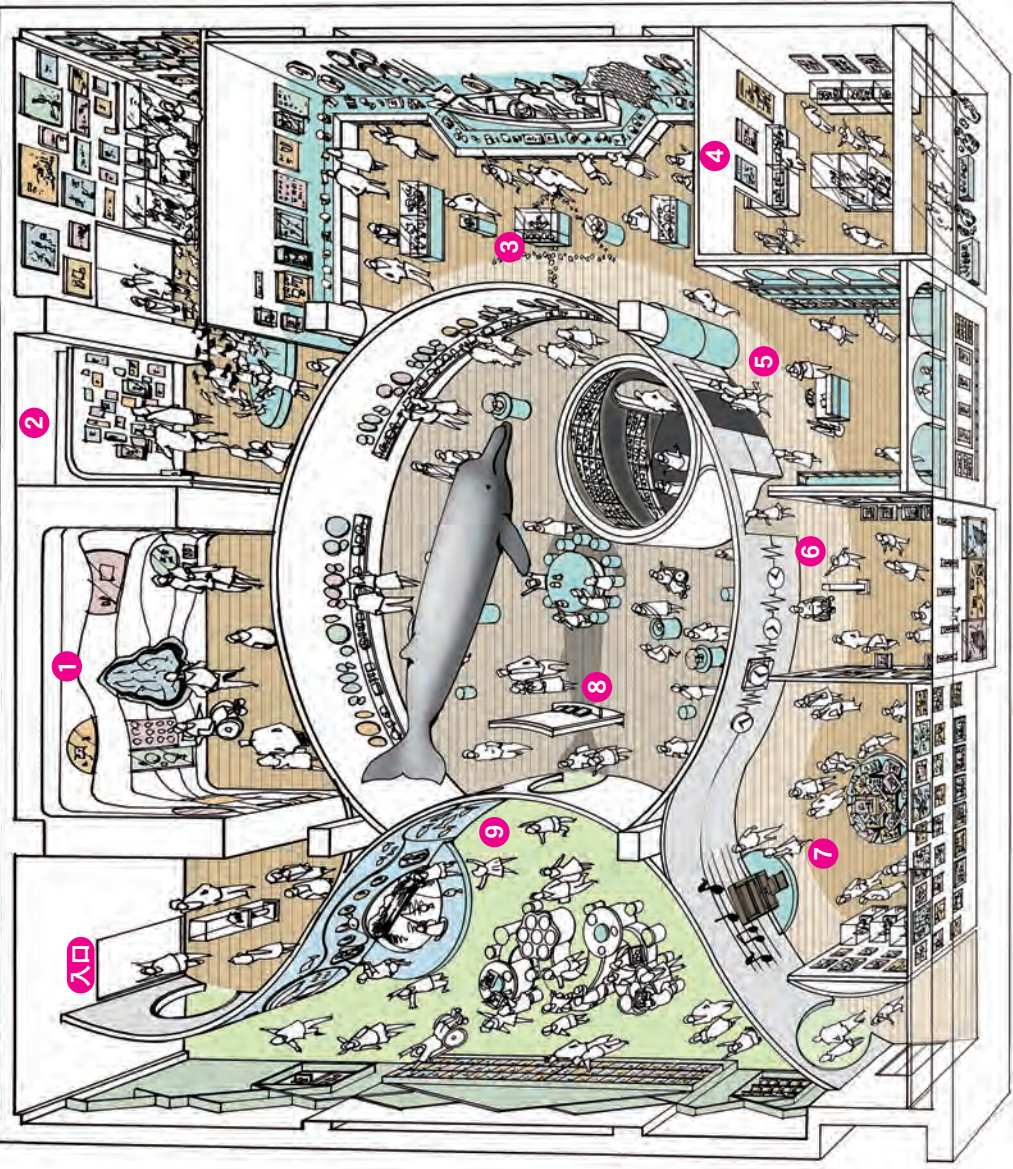


被災した文化財の救出と、全国の博物館などの協力によってよみがえりつつある過程を、安定化処理や修復の技術とともに紹介します。

6 宿命とともに生きる



陸前高田を襲った津波の歴史と教訓を紹介합니다。

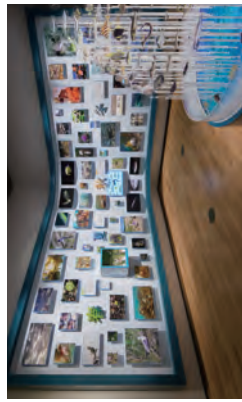


1 大地の成り立ち



日本列島の成り立ちを知る上で、重要な地域である陸前高田の大地。岩石や化石標本とともにその生い立ちをたどります。

2 奇跡の海 三陸



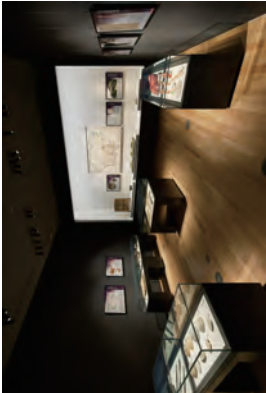
魚の王国と呼ばれる三陸の海、そして豊かな海を支える陸前高田の山から川・海への生物の多様性を四季と環境とともに紹介します。

3 海をあげめ 海にあらがわず 海と生きる



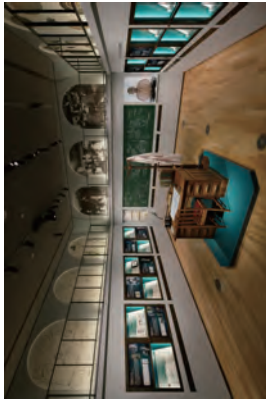
広田湾周辺に広がる貝塚をとおして縄文の海の豊かさを伝えるとともに、その中から発掘してきた漁撈用具を使用法と合わせて紹介します。

4 資料が語る陸前高田の歴史



陸前高田の歴史や民俗を物語るうえで欠かすことのできない様々な資料を展示します。

5 博物学の世界



本市の博物学者である鳥羽源藏、その愛弟子・千葉蘭児の業績や貴重なコレクションを紹介します。

No.

■ 体験メニューの種類	見学ガイド
-------------	-------

■ 商品素材名称

陸前高田市立博物館

■ 商品素材写真	■ 商品素材紹介
----------	----------



学芸員による展示ガイド

【概要】
博物館学芸員による常設展示等の解説。陸前高田の自然、歴史、文化について震災の記憶と共に学べる内容となっている。

【注意事項】

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

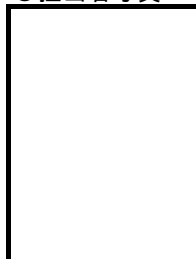
所在地	〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字並杉300-1		
種別	見学	料金	無料
受入人数	20名（それ以上は要相談）	所要時間	60分～120分
営業時期	通年（月曜休館※祝日の場合は翌日）	営業時間	午前9時～午後5時
集合場所	現地（陸前高田市立博物館）	解散場所	現地（陸前高田市立博物館）
駐車場状況	お近くの公共駐車場をご利用ください	現地ガイド	学芸員によるガイド(1名～2名)
予約申込期限	ご利用日の5日前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-54-4224		

<p style="text-align: center;">備考</p> <p>(※) 一般団体料金等について記載のこと。</p>	<p>受け入れ人数について、20名以上の場合でも受け入れは可能ですが、見学方法について調整する必要があるため、あらかじめご相談ください。</p>
--	--

● 二次交通情報

交通機関可能		付近情報	【ガイド】 高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】 東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)
			【食事】 陸前高田ワタミオーガニックランド

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

陸前高田市立博物館
学芸員 浅川崇典
Tel：0192-54-4224

陸前高田 防災減災 フィールド

グローバルキャンパス・たまご村エリア

学びを深めるセットプランも
ご用意しています

A プラン

震災前、震災時、復旧復興期の備えをコンパクトに知りたい方に

- < 内容 >
- ① 『『失われた街』 模型復元プロジェクト 見学
 - ② 避難所と在宅避難 展示見学
 - ③ 3.11 仮設住宅体験館 見学

※上記を防災士が解説します

< 料金 > 20,000 円 / 式

< 所要時間 > 1 時間 -

B プラン

被災時から復興までの話をじっくり聞きたい方に

- < 内容 >
- ① たまご村 視察
 - ② 3.11 仮設住宅体験館 語り部
 - ③ 3.11 仮設住宅体験館 宿泊研修

たまご村「わいわい」の食事つき

< 料金 > 6,500 円 + 食事代 / 人 (20 名の場合)

< 所要時間 > 3 時間 ~ ※人数によって1人当たりの料金が異なります

C プラン

体験してイメージ力を高めたい方に

- < 内容 >
- ① 避難所に行かない避難 (昼食・休憩込み)
 - ② 3.11 仮設住宅体験館 見学

< 料金 > 6,000 円 / 人

< 所要時間 > 4 時間

D プラン

生き延びるための備えを学びたい方に

- < 内容 >
- ① いのちのイメトレ
 - ② 避難所に行かない避難 炊き出し (夕食込み)

< 料金 > 基本料金 5,000 円 + 4,500 円 / 人

< 所要時間 > 3.5 時間

※人数によって1人当たりの料金が異なります。

※予約は背面に記載されている公式サイトよりお願いします。

※既存プログラムをアレンジしたいご要望がある場合は、企画調整費として別途料金が発生します。お見積書にて料金をご提示いたします。

受付なしで自由に見学いただけます。スタッフによる解説を希望される場合は、セットプラン (Aプラン) をお申込みください。

陸前高田グローバルキャンパス



2階

【『失われた街』 模型復元プロジェクト」展示】

地元の方さんの思い出の場所に「記憶の旗」がたてられた東日本大震災前の陸前高田市 (高田町・気仙町) の復元模型を展示しています。

3階

【避難所と在宅避難 展示】

東日本大震災時の避難所の状況と、避難生活への備蓄品や在宅避難への工夫などをまとめたパネルを展示しています。

【安田菜津紀写真展】

フォト・ジャーナリストの安田菜津紀氏が東日本大震災直後から撮り続けてきた陸前高田の街と人々の営みの写真の一部を、彼女自身の言葉と共に展示しています。

3.11 仮設住宅体験館

震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用し、震災の教訓を伝え、防災・減災を学ぶ「体験宿泊施設」を整備しています。展示室のパネルに記載された元住民の言葉と共に、暑さや寒さ、狭さを感じることで、よりリアルに追体験することができます。防災食も販売中！

至 たまご村



たまご村

2012年6月にオープンしたブレハブの「仮設商店街」が、2020年7月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外のNPOなどの異業種連携を図っています。

(陸前高田グローバルキャンパスから車で約10分：高田町大隅 93-1)

有料プログラム

研修プログラムもアレンジしたいご希望がある場合は、企画調整費として別途料金が発生します。御見積書にて料金をご提示いたします。

ワークショップ

発災時、自分に何が起こるか想像する

いのちのイメトレ

講師 高田グローバルキャンパス 2 階



震災前の復元模型を使って津波の威力を知ると同時に、地域の人から「なぜこの町に生き残るのか」を聞きます。

その後、発災時の状況を自分自身の問題としてイメージするトレーニングツール「目黒巻※」を使って、自分の防災力を見つめ直し身の回りの防災対策につなげる対話型ワークショップを行います。

※防災を専門とする東京大学日星公助教授が考案した防災シミュレーションツール

こんな人にオススメ！

- 震災前から暮らしている魅力を知りたい
- 高田町・気仙町の浸水区域へ復興エリアの全体像を見たい
- 話を聞くだけでなく、自分自身の防災対策をリアルに考えてみたい

定員	6-60名
時間	2時間
料金	基本料金 5,000円 +1,500円/人

※2週間前までのお申し込みをお願いいたします。



体験プログラム

発災直後、生き延びるための知恵を身につける
避難所に行かない避難

講師 高田グローバルキャンパス 3 階



プログラム① 避難所と在宅避難それぞれの備え

避難所1人あたりのスペース (2㎡想定) に寝転ぶ体験や、発災時のトイレ復旧までに行き、災害用トイレの使い方を学び、避難所と自宅 (在宅避難) どちらで生活を送ることにも生き延びられる備えは何か、考えていきます。

プログラム② 地域のお母さんたちとの炊き出し

発災時に炊き出しをしていたお母さんたちと一緒に、羽釜でお米を炊きます。可燃物の調達、焚き火台の組立て、火力の調整などを体験し、防災食と一緒に食事をとります。

こんな人にオススメ！

- 避難所と在宅避難それぞれのメリットを知りたい
- 体験を通じて備えるものを考えたい

定員	10-100名
時間	3.5時間
料金	6,000円/人

※2週間前までのお申し込みをお願いいたします。



体験学習・宿泊

復旧・復興期の暮らしを追体験する

3.11 仮設住宅体験

3.11 仮設住宅体験館



実際に仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、当時の問題を再現した施設です。

- ① 見学
仮設住宅での生活を経験された方達の話を元に、スタッフが展示室をご案内します。
- ② 語り部
地元住民が、仮設仮設住宅での暮らしについてお話しします。
- ③ 宿泊研修
家族構成別に再現した7部屋の内、ご希望の部屋タイプで宿泊研修いただけます。

防犯倉を販売しています/調理器具を貸し出します (貸料はご用意ください) / 語り部とセットでのお申し込みを推奨しています/

< 語り部 >

定員	1-30名
時間	1時間
料金	1-9名...8,000円/回 10-19名...10,000円/回 20-35名...15,000円/回

※7日前までのお申し込みをお願いいたします。

< 宿泊研修 >

定員	1-25名
料金	1DK(1-2名定員) 10,000円/室 2DK(1-4名定員) 13,000円/室 3K(1-6名定員) 16,000円/室 +寝具代1,000円/人

※7日前までのお申し込みをお願いいたします。
※1名あたりの金額は、上記料金を利用人数で割った金額です。



3.11 仮設住宅体験館
公式 Instagram

こんな人にオススメ！

- 本館の家に移るまでの期間をどう乗り越えたか知りたい
- 宿泊時間にも学びを得たい



研修プログラム

地元食材を食べながら経験談を聞く
たまたご村視察

仮設商店街 たまたご村



「事前準備※による商店街活性化」をテーマにした研修プログラムです。村長が担当する「カフェードバー-わいわい」の食事を食べながら講話を聞くことができます。東日本大震災で建設された仮設商店街のうち、個人で払い下げ(償還)を受けて営業継続している事例は全国でここだけ！

次の大震災での被害を最小限に抑えるために、失敗談までお話しします。

※災害が発生した際のこと想定し、被害を最小限に抑える都市計画やまちづくりを推進すること

- こんな人にオススメ！
- 復興・まちづくりを推進している人の話を聞きたい
- 商店街復活に必要なポイントを学びたい

定員	4-35名
時間	1.5時間
料金	基本料金 20,000円 食事 1,100円/人

※1ヶ月前までのお申し込みをお願いいたします。



明日からできる防災

陸前高田発、追体験で高める 災害イメージ力

“私たちと同じ思いを繰り返さないでほしい”

この願いを叶えるためには何をすればいいのか、東日本大震災の経験者と一緒に考えました。

「大変だったんですね」で終わるのではなく、「帰ったら○○をやってみる！」と次のステップに進む具体的な内容を宣言する追体験型プログラムをご用意しています。

防災士 / 陸前高田市防災マイスター*

久保 玲奈

* 陸前高田市防災マイスターとは

陸前高田市が育成している、地域における防災リーダーとして活躍できる人材です。将来の大規模災害の発生に備え、防災の専門家や市職員等による講座を受講することで、防災に関する知識や技術を習得しています。



陸前高田のことを
より深く知るならこの1冊！

「たかたる。総集編」



陸前高田の歴史や文化など、地元の魅力を高田の人みずから語る「たかたる」。2015年から2020年度までに発行した6冊に掲載されている総勢40人のインタビュー記事を一冊にまとめた総集編です。

- 陸前高田市内販売店
- 伊東文具店 (アバッセたかた内)
- 発祥パーク CAMOOCY



←ECサイトでも販売中！
<https://ec-tonarino.stores.jp>



予約・お問い合わせ

防災減災フィールド公式サイト

<https://www.bosai-f.com/>

一般社団法人トナリノ 防災伝承チーム

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字大隅 93-1 たまご村内
メール/tonarino.bosai@tonarino.org
電話/090-6568-6412





陸前高田



3.11

仮設住宅体験館

東日本大震災で
使われた仮設住宅を
再現して宿泊研修
できるのは
全国でここだけ！

見学



語り部



宿泊研修



※すべて予約制です。

陸前高田市では、震災の教訓を伝える場、防災・減災を学ぶプログラムの一環として、震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用し体験宿泊施設を整備しています。実際に仮設住宅で生活していた方々に語り部等として参画を求め生業と生きがいの場を創出することで、コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ることを目的としています。

当館は、陸前高田市内に53箇所あった応急仮設住宅団地の内、旧陸前高田市立米崎中学校グラウンドに建設された「神田仮設団地」の2棟8戸です。同敷地には2011年6月に18棟89戸が建てられ、最大で267名が住んでいましたが、震災から約8年半後の2019年（令和元年）下半期に入居者全員が退去しました。

※当時は地震の発生に伴う災害救助のために必要な応急的な仮設建築物として、緩和措置（建築基準法第85条第5項）を適用し木杭の上に建設されました。当施設は本設となることから、建築基準法に則りコンクリート基礎に改修しています。

※応急仮設建築物から旅館へ用途変更したことから建築基準法に則り排煙設備が必要となり、各部屋の上部に小窓を増設しています。

3.11仮設住宅体験館ってどんなところ？

東日本大震災で被災され仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、当時の部屋を再現しています。暑さ寒さ、狭さなどの住環境の状況を追体験するだけでなく、隣近所での支え合いやボランティアからの温かい支援があって前を向くことができた様々なエピソードも知り、防災対策やコミュニティづくりなど、自分自身が今からできることを考えてみましょう。

陸前高田市の仮設住宅建設の流れ

岩手県内で被災者が一番多かったため、発災当時は3,600～4,000戸の建設を想定しましたが、みなし仮設住宅制度や近隣自治体に仮設住宅が建設されたことで2,148戸の建設となりました。建設後は、日本赤十字社より「生活家電6点セット」として、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、電気ポットを寄贈いただきました。



東海新報社提供

2011年3月11日	東日本大震災発生
3月16日	岩手県からの建設候補地の現地調査
3月19日	第1弾着工（陸前高田一中仮設住宅）
3月30日	第1弾完成、第2弾着手
6月末	全ての土地が決定
7月27日	全ての建設工事が終了
8月11日	最終説明会、鍵の引き渡し

出典：岩手県庁ホームページ「応急仮設住宅の建設に係る進捗状況について」

見学

無料

展示室を見学します。生活する上で大変だったこと、それに対して工夫をしたことを、施設管理スタッフより説明いたします。（所要時間15分程度）



語り部

有料

地元住民が経験談をお話します。仮設住宅に関する内容が中心になりますが、震災時のことや避難所生活についても聞きになりたい方は、ホームページの予約フォームにできるだけ具体的にご記載ください。

参加人数	料金(税込)
1名～9名	8,000円
10名～19名	10,000円
20名～30名	15,000円

※以降、要相談。

ご希望の日時によっては地元住民からのお話が難しいこともあります。経験談をスタッフが代弁することもありますので、予めご了承ください。



※展示物をゆっくりご覧になったり、語り部と交流されたい場合は、所要時間90分を推奨しています。予約フォームにご希望の時間をご記載ください。※事前学習としてオンラインでの提供も可能です。参加人数と料金は同様です。

仮設建築物を利用した近隣の関連施設

たまご村（岩手県陸前高田市）

2012年6月にオープンしたプレハブの「仮設商店街」が、2020年7月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外のNPOなどの異業種連携を図っています。施設内の視察や震災当初の講話も行っています。

お問い合わせ

たまご村事務局

☎ 090-8585-9607



イコウェルすみた（岩手県住田町）

木造戸建ての仮設住宅の部材を再利用して建設した、オフィス棟・滞在体験棟などを有する施設です。展示棟では震災後の住田町の後方支援等に関する資料を展示しています。

お問い合わせ

住田町企画財政課政策推進係

☎ 0192-46-2114

イコウェルすみた

☎ 0192-47-5075



宿泊研修

有料

東日本大震災において仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、7部屋を家族構成別に再現しています。ご希望の部屋タイプにご宿泊いただけます。

防災食を販売しています！

防災食とは、災害などの非常事態により食料の確保が困難になることを想定して準備しておく食品です。

仮設住宅の暮らしで防災食を食べていたわけではありませんが、宿泊研修時の食事や自宅での備蓄用などとして、この機会には是非お試しください。

アレルギー、アレルギー対応食もご用意しています。



自炊する調理器具が揃っています！

キッチンの狭さや、暑さ寒さを体験できます。食材はご自身でご用意ください。

地元の語り部の皆さんのお話が聞けます！

1泊では分からない“暮らし”のイメージが深まるため、セットでのお申込みを推奨しています。



●部屋タイプ

部屋番号	間取り	宿泊定員	生活モデル
17-1	2DK	3名	20代夫婦と乳幼児
17-2	1DK	2名	80代1人暮らし
17-4	3K	6名	親子5人暮らし
18-1	2DK	4名	60代夫婦2人暮らし
18-2	1DK	2名	20代1人暮らし
18-3	2DK	3名	60代夫婦とペット
18-4	3K	5名	2世帯7人暮らし

ご準備いただきたいもの ・タオル・歯ブラシ・髭剃りなど

ご利用いただける家電 ・冷蔵庫・IHクッキングヒーター
・電子レンジ・ドライヤーなど

※その他、ご利用いただける設備や消耗品についてはホームページをご確認ください。

●宿泊料金

右記料金の他に、1名あたり寝具料金1,000円がかかります。

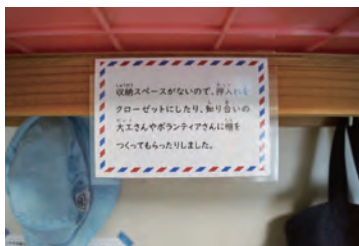
※1名あたりの金額は、右記料金を利用人数で割った金額です。

部屋タイプ	1室料金(税込)
1DK	10,000円/室
2DK	13,000円/室
3K	16,000円/室

3.11仮設住宅体験館でこんなことをやってみよう

暮らしメモを見て想像しよう

生活する上で苦労されたことや工夫、ご近所さんとのエピソードなどを、部屋のいたるところに掲示しています。



柱と壁を触ってみよう(冬季)

鉄製の柱と梁は外気の影響を受けて、夏は熱く冬は冷たくなります。冬はストーブを使うことで天井や壁、床なども結露し、カビが多く発生しました。



スリッパを脱いで立ってみよう(冬季)

冬はとても底冷えします。当時は応急的な仮設建築物として木杭の上に建設されたため地面と床が近く、布団や寝巻を複数枚重ねても夜中に目が覚めたそうです。



隣の部屋の音を聞こう(知人同士での利用に限ります)

当館の壁には断熱材が入っていますが、壁の近くで話したり壁に衝撃を与えたりすると、隣の部屋まで聞こえます。



ご予約

ご予約フォームより受け付けています。空き状況や休館日はホームページのカレンダーをご確認ください。

	予約受付	開館時間	所要時間	定員	料金	ご予約フォーム
見学	2日前 ※前日～当日のご予約は お電話にてお願い致します	9:00～17:00 (最終受付 16:00)	15分～30分	30名まで	無料	
語り部	7日前	9:00～20:00 (最終スタート 19:00)	6名以下 60分～90分 7名以上 75分～90分	30名まで	有料 (当日現金精算)	
宿泊研修	7日前	チェックイン 14:00～21:00 チェックアウト 10:00まで	—	25名まで	有料 (当日現金精算)	

陸前高田グローバルキャンパスのご案内

3.11仮設住宅体験館と同じ敷地にある「陸前高田グローバルキャンパス」にて以下を展示しています。
見学のみは予約不要・無料ですが、体験プログラム(体)は事前予約制・有料です。右記QRからお問い合わせください。



「失われた街」模型復元プロジェクト ふるさとの記憶

見学無料



震災前の街並みを1/500縮尺で復元した模型を展示しています。神戸大学の槻橋研究室をはじめとする全国各地の学生が白模型を製作し、地元の皆さんと一緒に着色したり思い出の場所に「記憶の旗」を立てたりしました。

(体) テーマ：災害状況を想像する力を高める

安田菜津紀写真展

「この街で、これからも
～陸前高田に生きる～」

見学無料



フォト・ジャーナリストの安田菜津紀さんは、東日本大震災直後から、陸前高田の街と人々の営みを撮り続けてきました。その一部を彼女の言葉と共にお届けしています。

避難所と在宅避難 展示

見学無料



東日本大震災における避難所の状況と、避難所生活への備蓄品や在宅避難への工夫などをまとめたパネルを展示しています。段ボールベッド、カーテン仕切り、災害用テント、マンホールトイレなどの現物もご覧いただけます。

(体) テーマ：自分の命を守るための知恵を身につける

ACCESS

3.11仮設住宅体験館

岩手県陸前高田市米崎町字神田113-10

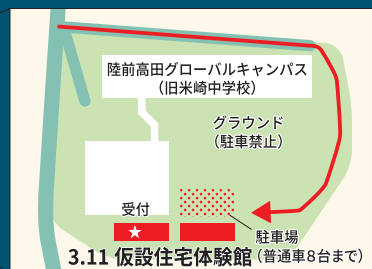


大船渡方面から

国道45号線を気仙沼方面に進み「産直はまなす」通過後、国道45号線を左斜め方向に降り、丁字路を左折後、直進約600m

気仙沼方面から

国道45号線を大船渡方面に進み、米崎郵便局の交差点を右折後、丁字路を右折し約250m



最寄りのバス停から徒歩20分前後かかるため、レンタカーやタクシー、レンタサイクルなどを推奨しています。

お問い合わせ

3.11仮設住宅体験館事務局（一般社団法人トナリノ）

☎ 080-2830-8412 (受付時間 9:00～17:00)

✉ info@311kasetu.com



ホームページ



Instagram

防災減災フィールドの様子



避難所1人あたりのスペース
(2㎡想定)に寝転ぶ体験

震災時に炊き出しをしていた
方と羽釜で炊事を行なう体験



応急仮設住宅の生活を経験され
た方から当時の話を聞く体験

高田松原津波復興祈念公園(※)と各施設の位置関係について

※復興祈念公園の駐車場は「東日本大震災津波伝承館」及び「道の駅高田松原」と共用になります。



(2021年7月撮影)

復興祈念公園から各体験施設へのアクセス

- ・ **ワタミオーガニックランド**：陸前高田市気仙町字土手影309
⇒ 車で3分（1 km）
- ・ **陸前高田市立博物館**：陸前高田市高田町字並杉300-1
⇒ 車で5分（1.5 km）
- ・ **中心市街地（かさ上げ地）**：陸前高田市高田町字館の沖付近
⇒ 車で5分（1.5 km）
- ・ **岩手県立野外活動センター**：陸前高田市広田町字大久保124-1
⇒ 車で20分（12 km）

周辺施設連絡先・避難マップ

市外局番(0192)

	名称	住所	電話番号
役所	陸前高田市役所	陸前高田市高田市高田町下和野100	54-2111
消防	陸前高田市消防本部	陸前高田市高田町栃ヶ沢210-2	54-2119
警察	大船渡警察署 高田幹部交番	陸前高田市高田町栃ヶ沢205	55-2022
	大船渡警察署	大船渡市盛町下館下14-2	26-0110
観光	陸前高田市観光物産協会	陸前高田市高田町字並杉300-2	54-5011
病院	岩手県立高田病院	陸前高田市高田町太田56	54-3221
	岩手県立大船渡病院 救命救急センターあり(24時間対応)	大船渡市大船渡町山馬越10-1	26-1111

市の避難マニュアル・避難マップ一覧は下記URLよりご確認ください。

(QRコードからも確認ができます)

① 陸前高田市『避難マニュアル』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3903.html

② 陸前高田市『指定緊急避難場所・指定避難所等の一覧』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3932.html



QRの先では、下記の情報を見ることができます。

陸前高田市津波防災マップ

土砂災害・洪水ハザードマップ

指定緊急避難場所 ⇒ 「いったん逃げる場所」

災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全確保を目的として、命を守るために緊急的に避難する場所のことを指します。

指定避難所一覧 ⇒ 「避難生活ができる場所」

災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、また災害により自宅が被災し戻れなくなった場合、一時的に滞在することを目的とした施設のことを指します。

団体連絡先一覧

各プログラムに関する詳細や資料請求については
下記連絡先へお願いいたします。

- **一般社団法人陸前高田市観光物産協会**（担当：小林）
電話：0192-54-5011
Mail：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp
- **東日本大震災津波伝承館**（担当：小野）
電話：0192-47-4455
Mail：AJ0007@pref.iwate.jp
- **陸前高田ワタミオーガニックランド**（担当：田端）
電話：0192-53-2610
Mail：info-rt-organic@watami.net
- **岩手県立野外活動センター**（担当：及川）
電話：0192-22-9800
Mail：hamaline@sposhin.echna.ne.jp
- **特定非営利活動法人SET**（担当：吉原）
電話：0192-47-5747
Mail：takataminpaku@nposet.com
- **陸前高田市立博物館**（担当：浅川）
電話：0192-54-4224
- **一般社団法人トナリノ**（担当：吉田・久保）
電話：090-6568-6412
Mail：tonarino.bosai@tonarino.org

陸前高田で学ぶ旅－教育旅行プログラム－

製作・発行 一般社団法人陸前高田市観光物産協会
住 所 〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町字並杉300-2 まちの縁側
電 話 0192-54-5011
メー ル rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp



観光物産協会ホームページ
「高田旅ナビ」
